

モデルリスクコミュニケーションの開催結果（概要）

1 趣旨

化学物質による環境リスクを効果的に減らす取組を進めるためには、市民、事業者、行政等の関係者が、化学物質に関する情報を共有しつつ、相互に意思疎通を図ること(=リスクコミュニケーション)が重要である。

そこで、事業者による自主的なリスクコミュニケーションを促進するため、本市では初めて、工場見学や化学物質管理について地域住民、事業者等が意見交換を行う、リスクコミュニケーションのモデル事業を実施したものである。

2 主催

なごや化学物質リスクコミュニケーション懇談会、ニチ八株式会社

3 開催日時

平成19年7月2日（月）午後2時から午後5時30分まで

4 開催場所

ニチ八株式会社名古屋工場集会室（名古屋市港区汐止町12番地）

5 参加者

（1）意見交換参加者 下記の19名

立場	人数	参加者
司会進行	1名	八尾哲史氏（岐阜県立森林文化アカデミー）
アドバイザー	2名	藤江幸一氏（豊橋技術科学大学教授） 齋藤勝裕氏（名古屋工業大学教授）
市民	11名	野跡学区住民 8名 懇談会市民・NPO委員 3名
事業者	2名	ニチ八株
行政	3名	名古屋市環境局職員、保健所職員

（2）傍聴者 下記の26名

立場	人数
野跡学区住民	14名
化学物質取扱事業者	9名
行政等	3名

（3）報道関係者 2名

6 プログラム

項目	内容
オリエンテーション (20 分)	司会進行役から、本日のスケジュールや参加者の立場の説明、本日の会の目的(リスクコミュニケーションの目的、モデルとしての目的)についての確認がありました。また、自己紹介により、本日の会に期待していることを発表しました。
工場の概要の説明 (10 分)	ニチハ株式会社から、工場の立地条件や製造工程などについて説明がありました。
工場見学 (60 分)	4 班にわかれて、外壁材の製造工程(塗装ラインなど)などの見学を行いました。
化学物質のリスクに関する説明(10 分)	アドバイザー及び事務局から、工場で扱っている化学物質や、化学物質によるリスクの考え方について説明がありました。
環境への取り組みについての説明(15 分)	ニチハ株式会社から、工場における化学物質対策を中心とした環境への取り組みについて説明がありました。
意見交換 (60 分)	地域住民が日頃から工場の化学物質管理について不安を抱いていること、工場見学で感じたこと、説明を聞いて疑問に思ったこと、などについて意見交換を行いました。

7 配布資料・参考資料

- (1) 資料集
- (2) アンケート
- (3) 会社案内パンフレット(ニチハ株式会社)
- (4) n・a・view
- (5) P R T R データを読み解くための市民ガイドブック
- (6) かんたん化学物質ガイド「わたしたちの生活と化学物質」

8 結果報告

- (1) 報告書「モデルリスクコミュニケーションを開催！」(資料2-2)
参加者に配布するとともに、ニチハ(株)名古屋工場近隣の住民の方に回覧をしました。
また、名古屋市公式ウェブサイトに掲載しました。
- (2) アンケート集計結果(資料2-3)
名古屋市公式ウェブサイトに掲載しました。